

2009年3月号

シビル メール ニュース

これまでに配信されましたシビルメールニュースは、「日本大学工学部土木工学科」のホームページ(<http://www.civil.cst.nihon-u.ac.jp>)より『OB向け情報』→『シビルメールニュース』でご覧いただけます。なお、シビルメールニュースをE-mailにて配信ご希望の方もしくは郵送を希望される方は、卒業年次・氏名・勤務先・配信メールアドレス（郵送先住所）を明記の上、mailnews@civil.cst.nihon-u.ac.jp宛にお申し込み下さい。

発行責任者 土木工学科教授・教室主任 松島眸

第2回企業懇談会

平成21年2月9日（月）16時から駿河台校舎9号館にて、第2回企業懇談会が開催されました。これは、昨年12月に行われた第1回企業懇談会に引き続き行われ、今回は24社の企業の方々に参加していただきました。今回も前回と同様に企業ごとにブースを設置し、1回の説明時間を25分として、それを4回行い、その間に学生達は希望する企業の説明を受けることが出来る形式を取りました。当日、学生達は事前に担当教員から懇談会への参加説明を受けた後、それぞれ思い思いの企業ブースで企業から説明を受けていました。当日は、約50名の学部3年生と大学院1年生が参加しました。

懇談会終了後は、第1回と同様に1号館2階カフェテリアにて懇親会が行われました。



会場の様子



参加説明会の様子



懇親会の様子

公務員試験土木専門講座が開催

平成21年2月21日（土）に駿河台校舎7号館にて、土木工学科主催による公務員試験土木専門講座が開催されました。これは、土木専門科目に関するポイント整理の講座と国家、都県庁、市役所に勤めている卒業生を招いて相談会を行いました。相談会では、各団体で「どのような人材を期待しているか?」「どのような仕事ができるか?」等学生が抱える素朴な疑問を、直接講師に投げかけて進めていく座談会形式で行われました。続けて、2月28日（土）、3月7日（土）にも開催されます。



会場の様子

平成 20 年度 学部卒業論文発表会

研究室卒業研究発表会日程表

平成20年度土木工学科卒研生の卒業研究発表会が、1月24日（土）～2月14日（土）にかけて研究室（23研究室）ごとに行われました。卒研生にとって、卒業前の最後の難関であり、この日のために1年間、実験や調査を行なった成果の集大成を発表用パワーポイントにまとめ、披露していました。また、後に抄録および本論を提出することになります。

どの研究室の卒研生もとても緊張した様子でしたが、無事に発表を終えることが出来ました。

なお、各研究室の卒業研究発表会の日程は右表の通りでした。

開催日	研究室	指導教員
1月24日	社会基盤情報システム研究室	小林義和 専任講師
2月3日	海岸環境研究室	前野賀彦 教授
2月6日	環境衛生工学研究室 水圏環境システム研究室 微生物処理工学研究室 合同発表会	田中和博 教授 松島眸 教授 齋藤利晃 准教授
2月7日	都市計画研究室 交通研究室 社会基盤マネジメント研究室 合同発表会	岸井隆幸 教授 島崎敏一 教授 金子雄一郎 専任講師
2月9日	海浜研究室	久保田進 教授
2月10日	水理研究室 流水デザイン研究室 合同発表会 環境地盤研究室	大津岩夫 教授 高橋正行 専任講師 鎌尾彰司 准教授
2月12日	コンクリート研究室 コンクリート構造設計研究室 合同発表会 環境水理研究室 環境リモートセンシング研究室 土の力学・地盤工法研究室 沿岸域防災研究室	梅村靖弘 教授 山崎淳 教授 安田陽一 教授 羽柴秀樹 准教授 梅津喜美夫 専任講師 後藤浩 専任講師
2月13日	地盤工学研究室	徳江俊秀 教授
2月14日	振動研究室 風工学研究室 耐震研究室 数値個体力学研究室 合同発表会	塩尻弘雄 教授 野村卓史 教授 花田和史 教授 鈴木順一 准教授



環境衛生工学研究室・水圏環境システム研究室
微生物処理工学研究室合同発表会の様子



水理研究室・流水デザイン研究室
合同発表会の様子



振動研究室・風工学研究室・耐震工学研究室
数値個体力学研究室合同発表会の様子

平成 20 年度 大学院修士論文発表会

平成 20 年度大学院土木工学科専攻の博士前期課程の修士論文発表会が 2 月 23 日（月）に駿河台校舎 142・143 教室で開催され、33 名が発表を行いました。当日は、発表者 1 名につき、発表 12 分、質疑応答 7 分で行われました。

なお、大学院修了予定者の発表プログラムは、次の通りです。



修士論文発表会の様子

平成20年度 土木工学専攻 修士論文発表会プログラム（構造・地盤・土木材料系）

開催日：平成21年2月23日（月）
会場：142教室
発表時間：1人あたり20分（発表12分＋質疑応答7分＋交代時間1分）

第1セッション 9:00～10:20 司会：野村卓史 教授 副司会：梅津喜美夫 専任講師

発表時間	学生番号	氏名	論文題名	指導教員
9:00 ~ 9:20	M7002	荒井 佑介	模型斜面の破壊機構におけるアーチ作用の役割	徳江俊秀
9:20 ~ 9:40	M7003	大澤 祐太郎	複層構造モデルの振動特性と制御	塩尻弘雄
9:40 ~ 10:00	M7004	大下 泰明	模型地盤の側方除荷破壊機構におけるアーチ作用の重要性	徳江俊秀
10:00 ~ 10:20	M7005	尾上 博一	脱リンスラグを使用した高炉スラグセメントの乾燥収縮 低減効果	露木尚光 梅村靖弘

第2セッション 10:30～11:50 司会：徳江俊秀 教授 副司会：鈴木順一 准教授

発表時間	学生番号	氏名	論文題名	指導教員
10:30 ~ 10:50	M7008	喜多村 洋兵	地震観測記録と動的サブストラクチャー法に基づく学校 建築(14号館)の相互作用問題	花田和史
10:50 ~ 11:10	M7009	黒岩 雅志	歩道橋の振動特性と制御	塩尻弘雄
11:10 ~ 11:30	M7010	近藤 宏樹	セメント硬化体の微細構造に及ぼす高性能AE減水剤の影響	梅村靖弘
11:30 ~ 11:50	M7011	三枝 洋之	海岸植生の砂質土地盤に及ぼす影響に関する研究	前野賀彦

第3セッション 13:00～14:40 司会：塩尻弘雄 教授 副司会：鎌尾彰司 准教授

発表時間	学生番号	氏名	論文題名	指導教員
13:00 ~ 13:20	M7012	佐藤 真太郎	屋外の音の伝播を評価するための有限要素解析法	野村卓史
13:20 ~ 13:40	M7017	中倉 香代子	地盤構造同定を目的とする孔内S波発生装置開発に関する可能性検討	花田和史
14:00 ~ 14:20	M7018	中島 毅大	蒸気養生したフライアッシュコンクリートの凍結融解 抵抗性	梅村靖弘
14:20 ~ 14:40	M7023	萩原 拓史	開発した液状化振動試験における問題点の検討と改善及び繰返し三軸圧縮試験との比較	徳江俊秀 梅津喜美夫

第4セッション 14:40～16:30 司会：前野賀彦 教授 副司会：小林義和 専任講師

発表時間	学生番号	氏名	論文題名	指導教員
14:50 ~ 15:10	M7024	パレハテ ラヘマ	エレメントフリーガラーキン法の動的亀裂問題への適用	塩尻弘雄
15:10 ~ 15:30	M7030	三木 佑介	微粉砕セメントを混和した普通ポルトランドセメントの 特性	梅村靖弘
15:30 ~ 15:50	M7032	宮田 秀太	変分マルチスケール法による有限要素流体解析法の構築と竜巻状気流シミュレーションへの応用に関する試み	野村卓史
15:50 ~ 16:10	M7034	山本 隆志	アーウィンセメントを使用した汚染土壌中の六価クロム 溶出抑制	梅村靖弘
16:10 ~ 16:30	M6021	吉川 元清	シールドトンネルの応力解放率及び覆工作用荷重に関する考察	塩尻弘雄

平成20年度 土木工学専攻 修士論文発表会プログラム（水理・計画・環境系）

開催日：平成21年2月23日（月）
会場：143教室
発表時間：1人あたり20分（発表12分＋質疑応答7分＋交代時間1分）

第1セッション 9:00～10:20 司会：久保田進 教授 副司会：羽柴秀樹 准教授

発表時間	学生番号	氏名	論文題名	指導教員
9:00 ~ 9:20	M7001	阿部 光太郎	社会基盤施設の運営事業の価値算定に関する研究	島崎敏一 金子雄一郎
9:20 ~ 9:40	M7006	笠原 政人	階段状水路の空気混入流特性に対する水路傾斜角度の影響	大津岩夫 高橋正行
9:40 ~ 10:00	M7007	河合 郁郎	下水処理微生物電池に適した電子受容体の有すべき性質に関する研究	齋藤利晃
10:00 ~ 10:20	M7013	高瀬 亮	フラッシュゲートを利用した合流式下水道の改善に関する基礎的研究	田中和博

第2セッション 10:30～11:50 司会：島崎敏一 教授 副司会：高橋正行 専任講師

発表時間	学生番号	氏名	論文題名	指導教員
10:30 ~ 10:50	M7014	高橋 直樹	ブール式台形断面魚道における流況特性に対する側壁勾配の影響	安田陽一
10:50 ~ 11:10	M7015	坪井 宣太	リン蓄積細菌 2 種の亜硝酸に対する感受性の相違	齋藤利晃
11:10 ~ 11:30	M7016	寺門 卓哉	高分解能衛星観測による森林域の樹木密集度の調査	久保田進 羽柴秀樹
11:30 ~ 11:50	M7020	那須 広孝	東京の環状街路計画の変遷に関する史的的研究	岸井隆幸

第3セッション 13:00～14:40 司会：安田陽一 教授 副司会：金子雄一郎 専任講師

発表時間	学生番号	氏名	論文題名	指導教員
13:00 ~ 13:20	M7022	野崎 貴裕	不透過フェンス周辺の流れに関する実験的研究	久保田進
13:20 ~ 13:40	M7027	平口 泰史	下水管渠内における下水の性状変化に関する研究	田中和博
13:40 ~ 14:00	M7028	松橋 学	リン蓄積細菌の好氣的亜硝酸脱窒による亜酸化窒素発生に関する研究	齋藤利晃
14:00 ~ 14:20	M7029	圓山 洋平	近郊整備地帯における人口増減に関する分析	岸井隆幸

第4セッション 14:40～16:10 司会：岸井隆幸 教授 副司会：後藤浩 専任講師

発表時間	学生番号	氏名	論文題名	指導教員
14:50 ~ 15:10	M7031	宮澤 功	鉛直シルによる強制跳水の二、三の水理特性	安田陽一
15:10 ~ 15:30	M7035	湯本 高太	代表的リン蓄積細菌 2 種の消長に与える影響因子に関する定量PCRを用いた研究	齋藤利晃
15:30 ~ 15:50	M7036	吉村 峻	高分解能衛星観測による東京都23区の植生分布の特性評価	久保田進 羽柴秀樹
15:50 ~ 16:10	M7037	渡邊 泰史	地震発生時における都内滞在者の帰宅行動モデル	島崎敏一

日大土木 Who's who

今回は、電力開発の第一人者である内海清温先生です

No. 16



氏名：内海 清温

専門分野：発電水力学

概略：

- 1890（明治 23）年 鳥取県に生れる
- 1915（大正 04）年 東京帝国大学工科大学（現東京大学）
土木工学科卒業後、内務省へ入省
- 1919（大正 08）年 電気化学工業に転じ、電力土木界へ
- 1945（昭和 20）年 財団法人建設技術研究所を設立
- 1956（昭和 31）年 電源開発会社総裁
- 1957（昭和 32）年 土木学会会長
- 1984（昭和 59）年 死去

内海先生は、わが国電力開発の第一人者として大淀川を皮切りに、黒部川、富士川などの様々な電力開発プロジェクトに関与し、電源開発の最大のプロジェクトである佐久間ダムを仕上げ、御母衣ダム、田子倉ダム、奥只見ダム成功の道筋を立てた。

1915（大正 04）年東大土木卒業後、内務省に入省し、江戸川改修事務所勤務後、電気化学工業に転じた。1927（昭和 2）年に電力コンサルタント自営後、富士川電力土木部長、日本軽金属取締役電力建設部長、日本発送電力理事を歴任したが、軍部の理不尽な干渉等により辞任した。1945（昭和 20）年に財団法人建設技術研究所（現在の株式会社建設技術研究所の前身）を設立し、戦後は電源開発審議会委員等、国の水資源開発や科学技術等の審議会委員を歴任する。1956年には、電源開発会社総裁に就任し、佐久間ダムなどのビックプロジェクトを軌道に乗せた。

教育研究としては、1936年に東京帝国大学工学部講師に招聘され、発電水力工学を講師すると同時に、日大、早稲田等でも講師を務めた。

参考文献：藤井肇男、「土木人物事典」、株式会社アテネ書房、p. 55～56、2004年12月
土木学会、「土木と200人」、p. 97、1984年10月

最近の教員活躍状況



梅村靖弘教授が、1月22日（木）に北海道大学工学部にて開催された「土木学会コンクリート委員会 混和材料を使用したコンクリートの物性変化と性能評価研究小委員会会議」に幹事として参加しました。

土木工学科教員5名の昇格が決定

平成21年度から土木工学科教員5名の昇格が決定しました。